

2025年4月21日

「第134回九州の経営動向調査（2025年1～3月期）」結果のお知らせ

西日本シティ銀行（頭取 村上 英之）は、四半期毎に当行のお取引先さまのご協力を得て、経営動向調査を実施しています。このたび、第134回（2025年1～3月期）の調査結果がまとまりましたので、お知らせします。

記

1. 調査対象企業

- ・当行の主要取引先 535 社（回答企業数 266 社、回答率 49.7%）
- ・回答企業：福岡県内企業 82.7%、中小企業 78.9%

2. 調査対象期間

2025年1～3月期（※前回調査：2024年10～12月期）

3. 項目別 BSI*の概要（製造業、非製造業、全産業）

	景況感			売上高			収益			資金繰り			商品在庫		
	前回	今回	前回比	前回	今回	前回比	前回	今回	前回比	前回	今回	前回比	前回	今回	前回比
製造業	2.7	▲5.4	▲8.1	4.1	▲5.4	▲9.5	▲5.5	▲4.0	+1.5	▲8.2	▲2.7	+5.5	▲6.9	1.3	+8.2
非製造業	6.5	7.8	+1.3	6.6	12.6	+6.0	4.0	4.2	+0.2	3.0	▲0.6	▲3.6	0.5	▲1.5	▲2.0
全産業	5.5	4.1	▲1.4	5.9	7.6	+1.7	1.5	1.8	+0.3	0.0	▲1.2	▲1.2	▲1.5	▲0.8	+0.7

※BSI とは、「好転・増加・不足」（前年同期比）の企業割合から「悪化・減少・過大」の企業割合を差し引いた指標

- ・景況感は、製造業は前回比 8.1 ポイント悪化、非製造業は前回比 1.3 ポイント改善し、全産業では前回実績 5.5 から 4.1 となり、3 四半期ぶりに悪化した。
- ・売上高は、食料品製造業、金属・機械器具製造業の悪化を受けて製造業では悪化した。収益は、食料品製造業、サービス業など悪化している業種もみられるものの、改善傾向である。

4. 業種別動向

- ・製造業は、原材料費の高騰や半導体市況の悪化、人材不足などの要因により景況感および売上高は悪化しているものの、研究開発などへの設備投資は増加している。
- ・非製造業は、景況感・売上高・収益は改善したが、サービス業では人材の確保に課題があり、景況感・売上高・収益・資金繰りの項目で悪化している。

5. 経営上の問題点

- ・「従業員対策」が 57% で 3 期連続 1 位となり、続いて「原材料値上り」が 53% となっているが、その差が縮小している。

以上

詳しくはこちらからご覧いただけます。→ [第134回九州の経営動向調査](#)

本件に関するお問い合わせ先
融資統括部 右近 TEL 092-476-2781

※当調査は情報提供を目的として作成されたものであり、その正確性・確実性を保証するものではありません。